

りっぶる

vol.13

2012.3

発行
島根県人権啓発推進センター

「りっぶる」は英語で「さざなみ」という意味を持っています。
この広報誌によって人を大切にすることや思いやりの輪が、さざなみのように広がってみんなの心に届くように願っています。

R I P P L E

特集

同和問題と出会って

松江市立福原会館 見崎 裕子さん



- 東日本大震災ボランティアレポート ～一人ももらさない網の目～ 大田市 太田 明夫さん
- 「人権問題に関する県民意識調査」の結果〈同和問題〉
- 人権啓発・研修 おすすめDVD紹介
- 島根スサノオマジックと連携・協力した人権啓発活動



どうわもん だい まった し わたし けっこん
同和問題を全く知らない私が、結婚して
どうわ ちく す ねんまえ
同和地区に住むことになったのは27年前の
こと だす。 なに し
何も知らないということで、マイ
ナスのイメージも持っていなかった私は、気
がる こえ やさ ちく みな
軽に声をかけ、優しくしてくださる地区の皆
さんに、「ここの人は接しやすく、優しい人
が多いところだな」と思ったのが第一印象
でした。

おも まいにち せい
そう思っていたのですが、毎日そこで生
かつ いろいろ こと み
活をしていくうちに色々な事が見えてきたり、
しゅうへん ちいき ひと き いっぽう せき はなし まど
周辺地域の人から聞いた一方的な話に惑わ
され、「ちく ひと へんけん も ま
地区の人たちに偏見を持ったり、間
ちが みかた かんが かつ
違った見方や考え方をするようになってしま
いました。

どうわもん だい わたし かんけい
また、同和問題は私にはあまり関係ない
こと だとも思っていました。

へいせい ねん りんぽかんしよくいん いち どうわ
平成8年に隣保館職員となり、一から同和
もん だい まな しよくいん ちく かつ
問題を学びました。職員として地区の方
かか なか はなし き
ちと関わっていく中で、いろいろな話を聞か
せていただき、たくさんの事を教えてもら
いました。私の同和問題の捉え方は間違っ
わたし じしん さべつ しゃ おも
ており、私自身差別者だったということと思
し
い知らされました。

ちく かつ さべつ たいけん き
地区の方たちの差別の体験を聞かせても
なに し さべつ
らい、何も知らないことが差別につながるこ
まな たいけん き き ぶ
とを学び、また、体験を聞けば聞くほど部

らくさべつ たい いか いきどお かん
差別に対して怒りや憤りを感じるようにな
りました。そこから少しずつ私の考え方が
かわ 変わっていきました。

わたし ふたり むすめ
また、私には二人の娘がいますが、その
たちば おも とき さき じんせい い
立場を思う時、先の人生、そこでずっと生
きていく自分というものを考えた時、同和
もん だい じぶん かんが とき どうわ
問題はひとごとからわがことになり、本気で
どうわもん だい む あ ほんき
同和問題と向き合うようになりました。でも、
その時はまだわが子に伝えるということなど
かんが 考えてもいませんでした。

とき むすめ ちく こわ
そんな時、娘が「あなたの地区は恐いと
ころ」と言われる出来事がありました。ま
ど 残る差別の現実を知り、ショックを受けま
した。そのことをきっかけに子どもの立場
の自覚について考えざるをえなくなりました。
どうりょう ちく ほごしゃ そうだん おな
同僚や地区の保護者に相談すると、みな同
じ悩みを持っているということがわかりました。

また、子どもたちの未来のために、きちん
と立場を告げ、差別に負けない強い人間に
そだ 育てたいと思っていることもわかりました。

おも とき ほごしゃ
そう思いながらも、その時の保護者はど
うしていいかわからず自信がないという保護
しゃ 者ばかりでした。同和問題学習の必要性を
かん ほごしゃ べんきょうかい はじ
感じ、保護者の勉強会を始めました。まず
おや まな きょうつう にんしき も たいせつ
親が学び、共通の認識を持つことが大切で
あると思いました。子どもたちが通ってい

がっこう せんせい かつた おも つた いっしょ
学校の先生方にもこの思いを伝え、一緒
まな かんが
に学び考えてもらいました。

そして1998年10月、わが子へ伝えること
もくてき ほたる かい た あ
を目的とした、「虫の会」を立ち上げました。

この「虫の会」で保護者同士、先生と保
護者の人間関係が深まり、何でも言い合える、
とてもいい関係が出来ました。また、会を
かさ かねい でき かい
重ねるごとに保護者は自分をさらけ出すこと
つよ
で強くなっていきました。そのうち、みん
ながそれぞれわが子へ伝えることができま
した。私も娘に伝えました。みんながひと
つになって取り組んできた「虫の会」はと
おお せいか おも
ても大きな成果があったと思っています。

もうひとつ成果があったことがあります。
わたし ふたり むすめ つ あ あいて ひとり
私の二人の娘は付き合っている相手（一人
は結婚しましたが）に自分のことをきちんと
つた
伝えることができたことです。

このことを通してふたりの娘は立場を告げ
たことを前向きに受け止め、そのこととき
む あ
ちんと向き合ってくれたのだと、とてもうれ
しく思いました。また、悩みながらも私
が同和問題解決のために一生懸命やってき
たことは間違っていなかったのだと思うと同
じ わたし すがた み おも
時に、私の姿を見てくれていたのだと思い、
ほんとう がんば おも
本当に頑張ってたよかったです。

わたし どうわ ちく がい どうわ ちく りょうほう せいかつ
私は同和地区外と同和地区と両方で生活

してきたわけですが、見る立場が違うと気
づきも違うということがわかりました。この
ようなことは日常生活の中でも、たくさんあ
るのではないのでしょうか。自分だけの考え
だけで判断しないで、いろいろな人たちの
こえ みみ かつた む
声に耳を傾け、さまざまな立場、視点から
かんが 考えていくことが大切だと思います。私は、
どうわ ちく す どうわもん だい む あ
同和地区に住み、同和問題と向き合いなが
ら生活してきましたが、自分の生き方と向き
あ 合ってきたようにも思います。同和問題と
む あ わたし い かつた か
向き合えたから私の生き方が変わってきた
のだと考えています。思いやりや人権の大
せつ つよ かん さべつ かつた
切さを強く感じとれたのも差別される側に立
ったときで、同和地区で生活したからこそわ
かったことだと思います。同和問題と出会
わなければ私はずっと差別をする人間のま
まだったかもしれません。

また、同和問題と出会ったことで、本当
にたくさんの方たちに出会うことができ、同
おも も なかま
じ思いを持ったたくさんの仲間ができました。
いま わたし ざいさん
それが今、私の財産になっています。

そして、差別の現実から学んだ貴重な体
けん おお ひと つた いちにち はや どうわもん だい
験を多くの人に伝え、一日も早く同和問題
をはじめとするあらゆる差別の解消に向けて、
これから活動も続けていきたいと思っています。



県民意識調査の結果<同和問題>

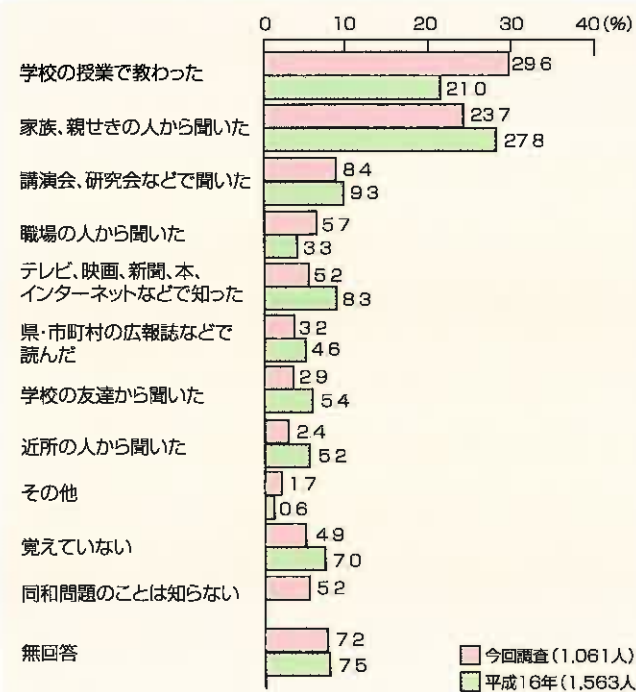
島根県では、今後の人権施策を進めていく上での参考にさせていただくため、平成23年9月に、様々な人権課題についての「人権問題に関する県民意識調査」を実施しました。
そのなかの、同和問題についての調査結果です。

満20歳以上の県内在住者2,000人 郵送方式によるアンケート
回収数1,061 回収率53.1%

1 同和問題の認知経路

同和問題について初めて知ったのは、どのようなきっかけでしたか。(〇は1つ)

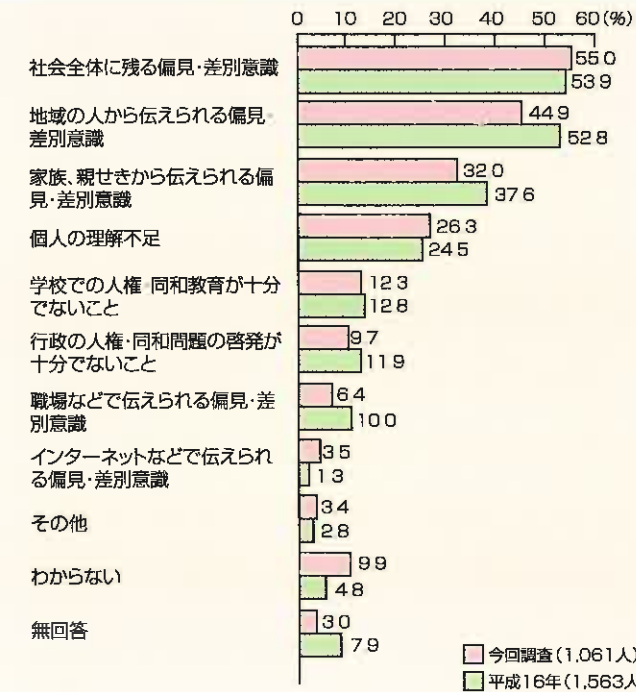
*平成16年調査では、「同和問題について知った時期」を聞く質問の付問であったため、「知っている」と答えた1,563人が総数となっている。



2 同和問題の原因や背景

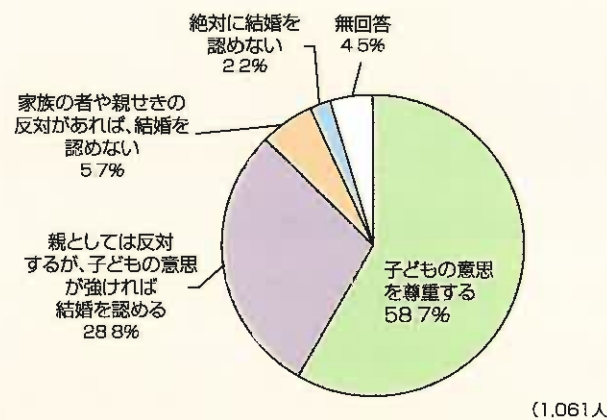
同和問題が残っている原因や背景は、何だと思えますか。(〇は3つまで)

*平成16年調査では、「同和問題について知った時期」を聞く質問の付問であったため、「知っている」と答えた1,563人が総数となっている。



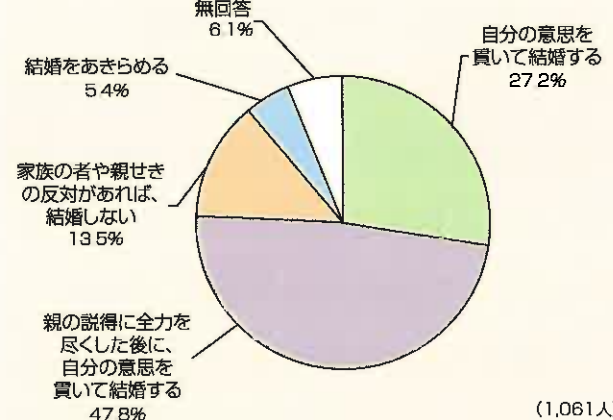
3 子どもの同和地区出身者との結婚

仮に、あなたのお子さんが同和地区の人と知り合い、結婚しようとしたとき、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)



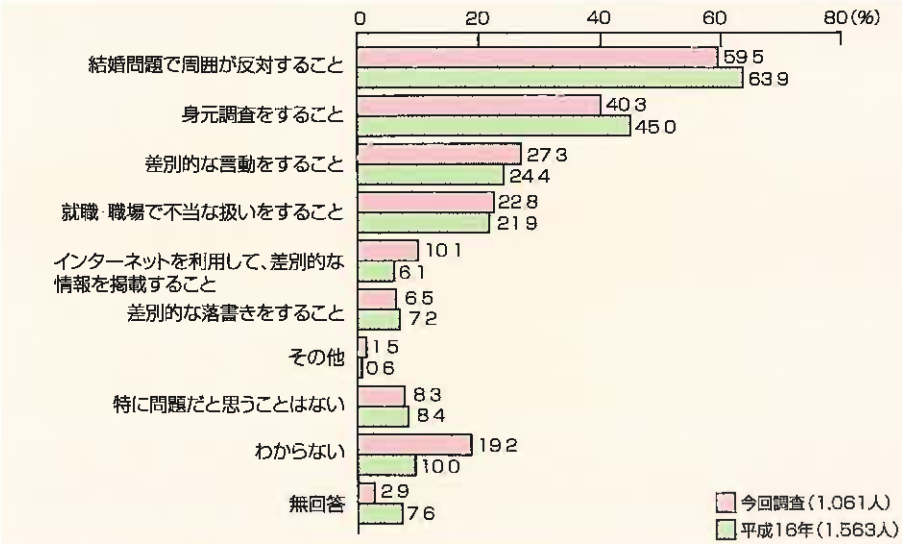
4 同和地区出身者との結婚

仮に、あなたが同和地区の人と知り合い、結婚しようとしたとき、親や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)



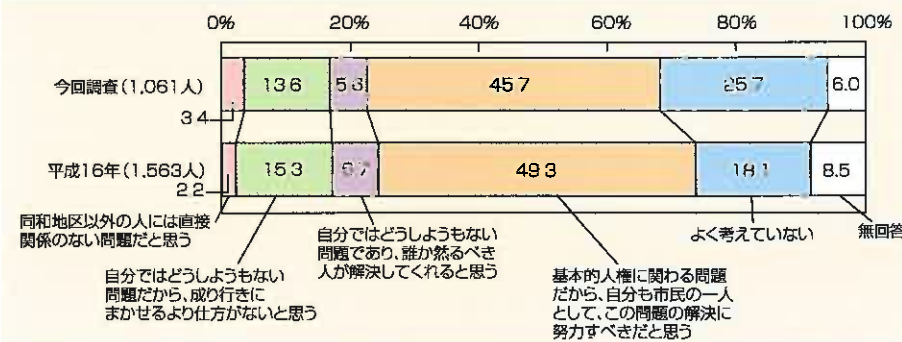
5 同和問題に関する人権上の問題

同和問題について、現在、どのような人権上の問題が起きていると思えますか。(〇はいくつでも)



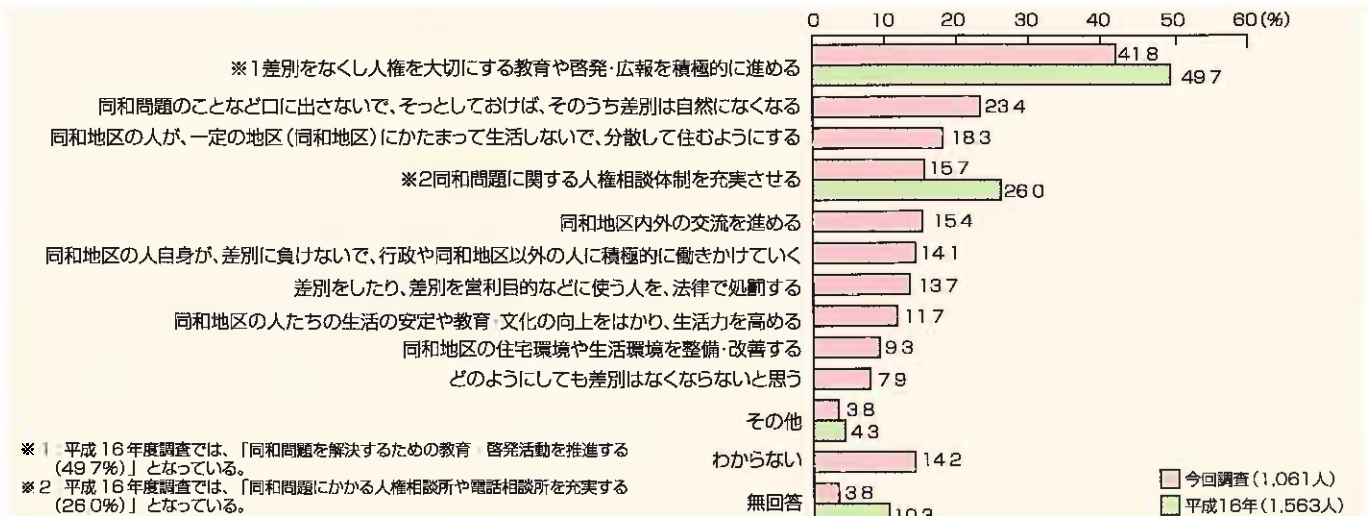
6 同和問題の解決に対する考え

同和問題の解決に対するあなたの考えはどうか。(〇は1つ)



7 同和問題の解決に必要なこと

同和問題を解決するためには、どうしたらよいと思えますか。(〇は3つまで)



同和問題はまだまだ解決されたとはいえず、一人ひとりが自分自身のこととして考え、解決に向けて取り組んでいくことが大切です。

東北被災地レポート

～一人ももらさない網の目～

大田市
太田 明夫さん



大田市 太田 明夫さん

大震災・大津波発生後、4月上旬の宮城、下旬の岩手と2度、被災地での活動に参加した。前者は日本赤十字の、後者は岩手県内の被災障がい者支援に徹したものであった。ここでは、紙面も限られているため、被災地に出合ったいくつかの出来事から、二つだけ紹介するに留める。

「福祉避難所」は弱者を救う？～テレビ画面の裏側で～

車いす生活のKさんの要請で、買い物支援に行った。家のすぐ下まで津波が押し寄せたという彼女は、兄に背負われていった避難所に逃げた。だが、そこに障がい者の居場所はなく、「あなたがいると迷惑」「あなたの来るところじゃない」とまで言われ、悔しい思いで自宅に帰っていた。こんな体になった自分が悪いんだとあきらめて。死にたいとさえ思いながら。

その後、彼女は地元テレビ局のニュース番組に登場した。今は自宅で暮らす彼女に、地元の世話人が声をかける。

「もうすぐ福祉避難所ができから、そこさ入るべ」「ありがとね。行かせてもらうからね」

辛い被災地暮らしの中の、日だまりのような光景。

しかし、じつは「福祉避難所なら医療設備も充実してるかな」と、単純には喜べない。わが被災地障がい者センターのリーダーは「あ～あ、これでまた後退だなあ」とため息をつく。長い間の努力で障がい者が町に出て、社会参加できる町を目指して活動してきたのに、こうして「福祉」の名の下に障がい者や高齢者が見えないところに隔離されてしまう。これでは逆戻りだ。リーダーは言う。「どこの避難所も福祉避難所になればいいんだ」

そこに気づきたい。

今回のような大きな災害に遭った時、人は助け、支え合い、温かなコミュニティを作り出す。それを「災害ユートピア」と呼ぶという。だが、そこに障がい者や高齢者は入っていなかったとしたら、ユートピアは偽りでしかない。

年寄りたちが眠れねえから・・・

しかし、一方で、こんな思いをしているのか、という子どもたちもいた。

Y町でのテント張り。二人のやんちゃな中学生が作業を手伝う。黙って聞いていると、作業の間中ゲームの話ばかり。「少年！中学生は全国共通だなあ」と思わず声をかける。だが、彼らの日常は決して“全国共通”などではない。少年の一人が、張り終わったテントを見て「ここなら足のばせるな」と何気なくつぶやいた。発災から3週間、避難所近くの自家用車の中で寝ているのだ。家族に迷惑かけるから、「できるだけ外で過ごす」中学生。「広いねえ」とテントに寝てみる母娘。「最初はみんな避難所に入ったけどな、年寄りたちが膝抱えて眠れねえから、これじゃダメだ、若いモンは出ようつって車に移ったんさ」と語る親父・・・。

災害に強い町

今回、私は短期間で8市町を回った。その印象を一言で言えば、あまりにも当たり前のようだが、災害に強い町になるのは日頃のつながりの強さに尽きる。一人としてもらさない網の目を持たなければ、いざという時に支えきれない。

結局、問われているのは日常であることに、改めて気づかされた。

人権啓発・研修 おすすめDVD紹介

センターでは、みなさんの心の糧となるDVDやビデオを豊富にご用意しています。その中でも特に職場研修等で活用しやすい作品をご紹介します。

貸出無料



人権啓発推進センター

新着 クリームパン



子どもへの虐待・命の関わりについて正しい理解を訴えます。人と人が出会い、つながっていく「いのちの物語」が1つのクリームパンから始まります。

見どころ

この作品は『「いのち」とは温かく、ずっしりと重く、一度失われたら二度と再生しないもの。』であることを子どもや若者、大人にも再確認させてくれます。

〔(公財)兵庫県人権啓発協会 東映株式会社〕
※(公財)兵庫県人権啓発協会の標記資料からの転載です

新着 今日もよか天気たい



人生の半ばで視力を失った女性“京子”を通して、バスに乗り合わせた乗客達が自身の心の中にある偏見や差別と「人権」の大切さに気づくストーリーです。

見どころ

この作品は『一人ひとりの温もりのある心に触れること、支え合って生きる喜び』がいかに大切かを訴えます。活用事例が掲載された丁寧な学習の手引きがありますので職場研修に最適です。

〔福岡県・(財)福岡県人権啓発情報センター 共和教育映画社〕

おすすめ メンタルヘルスと人権



うつ病の当事者と上司・同僚・家族の視点から考える問題提起型ドラマ作品

利用者の声

- ・うつ病についての予防も含めて職員への啓発になる。
- ・うつ病に至る過程が具体的に理解しやすかった。
- ・チームで取り組むことの大切さや、うつ病について理解できた。
- ・仕事量の分配を考えることにつながる。

〔(株)解放出版社〕

おすすめ 親愛なるあなたへ



無関心・無理解の壁を破り、温かい見守りと相互支援を進める大切さを学ぶ作品

利用者の声

- ・研修に参加した全員が涙し、感動した。視聴後の感想でも、肯定的な評価がほとんどで、色々な気づきにつながった。
- ・人権はもちろん地域づくりや人間関係など広い視野で誰にとっても共通する内容だった。

〔(公財)兵庫県人権啓発協会 東映株式会社〕
※(公財)兵庫県人権啓発協会の標記資料からの転載です

おすすめ 私たちの声が聴こえますか

社会福祉施設等の入所者に対する身体的・心理的虐待等について考える作品

利用者の声

- ・問題点・要点がコンパクトに盛り込まれていた。
- ・何気なく過ごしていたことも見つけ直さなければいけないのだと改めて実感させられた。
- ・それぞれの視点での気づき・改善点等について話し合いを行った。

〔企画：法務省・全国人権擁護委員連合会・(財)人権教育啓発推進センター〕

おすすめ 人権のヒント 職場編

日常生活のいろいろな場面から「人権のヒント」について一緒に考える作品

利用者の声

- ・職場内で起こりうる事例で参考になった。
- ・職場研修に利用したが、ワークシートがあったのでグループ討議が進めやすかった。
- ・いろいろな内容が簡潔なエピソードで構成されており、わかりやすかった。

〔東映株式会社〕

その他、図書やパネルの貸出も行っています

※全作品「手引書」つきです。

島根スサノオマジックと 連携・協力した 人権啓発活動を実施しました

島根県人権啓発活動ネットワーク協議会では、平成23年12月10日(土)・11日(日)、県立浜山体育館カミアリーナ(出雲市)で行われたbjリーグ男子プロバスケットチーム公式戦ホームゲームにて、人権啓発活動を実施しました。

12月4日～10日の人権週間広報啓発と青少年の健全育成を目的として、人権啓発ポスターコンクール表彰式や中学生人権作文コンテスト表彰式を行いました。会場には人KENまもる君とあゆみちゃんも登場し、来場者アンケートでは96%の方々から「人権課題への関心や意識を高める上で役立った」と回答いただきました。



りっぷる劇場



人権啓発推進センターをご利用ください

島根県人権啓発推進センターでは、人権に関する研修会などを支援したり、暮らしの中で起きる様々な人権問題の相談に応じています。どなたでも自由にご利用いただけます。

人権に関する相談

- 人権に関する相談に応じたり、相談内容によって専門の相談機関を紹介したりして、解決のための支援を行います。
※秘密は厳守します。

[相談専用電話] 人権啓発推進センター/0852-22-7701
西部人権啓発推進センター/0855-29-5530

「りっぷる」へのご意見・ご感想をお寄せください

ご意見をお寄せいただいた方に粗品を進呈します。いただいたご意見をもとに、より分かりやすく親しみやすい誌面づくりにつとめます。

個人情報の取扱/提供された個人情報は、粗品送付以外の用途には使用しません。

センターホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/jinkenkeihatsu/>

■島根県人権啓発推進センターのご案内

人権啓発推進センター
〒690-8501
松江市殿町1
(県庁第2分庁舎1F)

TEL
0852-22-6476
FAX
0852-22-9674



西部人権啓発推進センター
〒697-0041
浜田市片健町264
(浜田合同庁舎1F)

TEL
0855-29-5529
FAX
0855-29-5531

